今治市総合都市交通体系調査

報　　告　　書

平成２２年３月

愛 媛 県 今 治 市

はじめに

今治市では、平成１９年度から２１年度の３年間にかけて、本市３回目となる「自動車ＯＤ調査を伴う総合都市交通体系調査」を実施いたしました。

これまでの本市における総合都市交通体系調査は、人口や自動車が増加し、社会経済も成長していく将来都市構造を前提としており、そのために必要となる新たな道路（特に都市計画道路）整備を目指すものでした。

しかしながら、近年は人口減少や少子化、高齢化が進展するなど、社会経済情勢が大きく変化しており、厳しい財政状況による公共投資余力も減退しつつあります。

こういった中、本市では、既存の都市計画道路網を見直し、社会経済情勢の変化に対応した新たな都市計画道路網を構築するため、都市計画道路の廃止・変更候補路線の選定、今後の将来都市構造を実現していくための道路網計画（案）の立案などを行いました。本報告書においては、６回にわたる検討委員会の意見なども反映し、総合都市交通体系（案）の取りまとめを行っております。

最後に、本報告書の策定に際し、自動車ＯＤ調査などの実態調査にご協力をいただいた皆様や「今治市総合都市交通体系調査検討委員会」の委員の皆様に多大なご指導ご協力をいただきましたことをお礼申し上げます。

平成２２年３月

今治市 都市整備部 都市政策課

目　　次

第１編　調査の全体概要
１．調査目的 …… 1-1
２．対象地域 …… 1-2
３．調査の全体構成 …… 1-3
４．調査対象 …… 1-4

第２編　平成 19 年度調査の概要
１．調査概要 …… 2-1
1.1　調査フロー …… 2-1
1.2　調査スケジュール …… 2-2
２．オーナーインタビューＯＤ調査 …… 2-3
2.1　調査概要 …… 2-3
2.2　調査表の作成 …… 2-5
2.3　ゾーニング …… 2-12
2.4　回収結果 …… 2-14
2.5　オリジナルテープの作成 …… 2-15
３．世帯票の集計とりまとめ …… 2-17
3.1　回収結果 …… 2-17
3.2　集計結果 …… 2-18
４．スクリーンライン調査・コードンライン調査 …… 2-20
4.1　調査概要 …… 2-20
4.2　調査結果 …… 2-22
５．ターミナル調査 …… 2-24
5.1　調査概要 …… 2-24
5.2　調査結果 …… 2-26
６．通勤における自転車利用状況調査 …… 2-28
6.1　調査概要 …… 2-28
6.2　調査結果 …… 2-30

第３編　平成 20 年度調査の概要
１．調査概要 …… 3-1
２．交通実態調査の概要 …… 3-2
2.1　調査概要 …… 3-2
2.2　調査結果の概要 …… 3-3

３．都市構造分析 ･･･ 3-8
3.1　社会経済状況 ･･･ 3-8
3.2　上位計画の整理 ･･･ 3-14
3.3　将来都市構造の提案 ･･･ 3-17
４．交通現況分析 ･･･ 3-19
4.1　道路交通 ･･･ 3-19
4.2　公共交通 ･･･ 3-26
５．オリジナルデータの拡大処理等 ･･･ 3-29
5.1　データ処理の概要 ･･･ 3-29
5.2　合成処理 ･･･ 3-30
６．自動車交通の特性分析 ･･･ 3-31
6.1　発生集中交通量 ･･･ 3-31
6.2　運行原単位等 ･･･ 3-32
6.3　自動車交通分布（ＯＤ交通量） ･･･ 3-33
７．将来フレームの設定 ･･･ 3-34
7.1　将来フレームの考え方 ･･･ 3-34
7.2　将来フレームの設定結果 ･･･ 3-36
８．予測モデルの構築と現況交通量推計 ･･･ 3-43
8.1　予測モデル構築の考え方 ･･･ 3-43
8.2　現況の交通量推計と分析 ･･･ 3-44
９．将来交通需要の予測 ･･･ 3-49
9.1　将来交通需要予測の考え方 ･･･ 3-49
9.2　将来交通需要予測の結果 ･･･ 3-50
10．交通課題の明確化 ･･･ 3-53
10.1　地域の課題 ･･･ 3-53
10.2　現況からみた交通課題 ･･･ 3-54
10.3　交通課題の明確化 ･･･ 3-55

第４編　平成 21 年度調査

§１　総合交通体系編

１．調査概要 ･･･ 4-1
２．既定道路網の評価 ･･･ 4-2
３．都市計画道路の見直し ･･･ 4-8
3.1　見直し方針 ･･･ 4-8
3.2　見直し結果 ･･･ 4-13
４．総合都市交通体系（案）の策定 ･･･ 4-37
4.1　交通体系の基本方針 ･･･ 4-37
4.2　道路網計画（案）の立案・評価 ･･･ 4-41
4.3　幹線道路の整備方策 ･･･ 4-56

５．新規路線の提案 ･･･ 4-58
5.1　新規路線提案の視点 ･･･ 4-58
5.2　新規提案路線 ･･･ 4-61
６．広報資料（案） ･･･ 4-66
７．今後の検討課題 ･･･ 4-75

□参考１：ケース別将来交通量 ･･･ 4-76
1.1　平成 42 年整備路線道路網の将来交通量 ･････････････････････････ 4-76
1.2　中心部集約型都市構造に対応した将来交通量 ･････････････････････ 4-83

□参考２：波止浜停車場蛭子町線の必要性 ･････････････････････････････ 4-94
2.1　交通現況 ･･･ 4-94
2.2　見直しに関する検討 ･･ 4-98

□参考３：大西宮脇地区まちづくり交付金事業の道路計画（まち交道路）について ･ 4-100
3.1　将来交通量推計（H42）結果等による考察 ･････････････････････････ 4-100
3.2　まとめ ･･ 4-102
3.3　参　考 ･･ 4-102

§２　自転車走行環境編
１．調査概要 ･･･ 4-106
２．自転車を取り巻く背景 ･･･ 4-107
３．今治市の自歩道の現況 ･･･ 4-110
４．学校へのヒアリング調査 ･･ 4-111
５．自転車ネットワーク（案）の検討 ･･････････････････････････････････ 4-119

第１編　調査の全体概要

1．調査目的

今治市では、平成 2～3 年度にかけて、旧今治市を対象として、「今治広域都市圏総合都市交通体系調査」（愛媛県施行）を実施し、自動車を中心とした平成 22 年を目標とする交通体系の立案を行った。しかし、その後の国道 196 号今治バイパスの供用、瀬戸内しまなみ海道および今治小松自動車道今治湯ノ浦ＩＣの開通等により、広域交通体系の整備が図られた。さらに、平成 17 年 1 月には 12 市町村による広域合併が行われ、市中心部の中心核、旧町村中心部の生活拠点および臨海部の産業拠点等に市街地が分散している状況にある。また、人口減少や超高齢社会の到来に伴う自動車利用の減少、中心市街地の衰退および厳しい財政状況による公共投資余力の減退等が顕在化してきている。

このような背景から、都市計画道路の長期未着手路線、市町村合併に伴う交通流動の変化、大規模小売店舗の郊外進出等による都市構造の変化、衰退する中心市街地活性化支援等の都市交通問題への早急な対応等が求められている。

本調査は、上記の問題に対応した総合的な都市交通体系の実現を目的として、平成 19 年度から平成 21 年度の 3 箇年で基礎資料の収集および交通施設整備計画の立案等を行うものである。

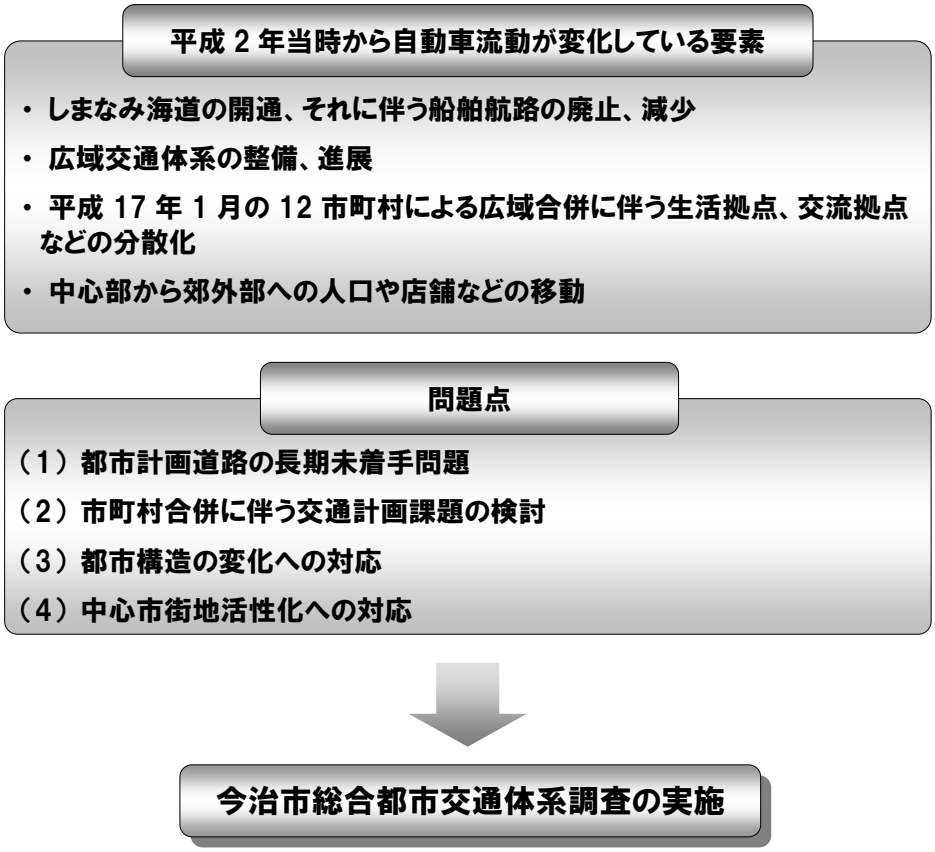


図 1.1.1　今治市総合都市交通体系調査実施の背景

2．対象地域

本業務の対象地域は、今治市の陸地部（旧今治市、旧朝倉村、旧玉川町、旧波方町、旧大西町、旧菊間町）とし、島嶼部と陸地部との交通流動については、平成 17 年度に行われた道路交通センサスデータ等により補完する。

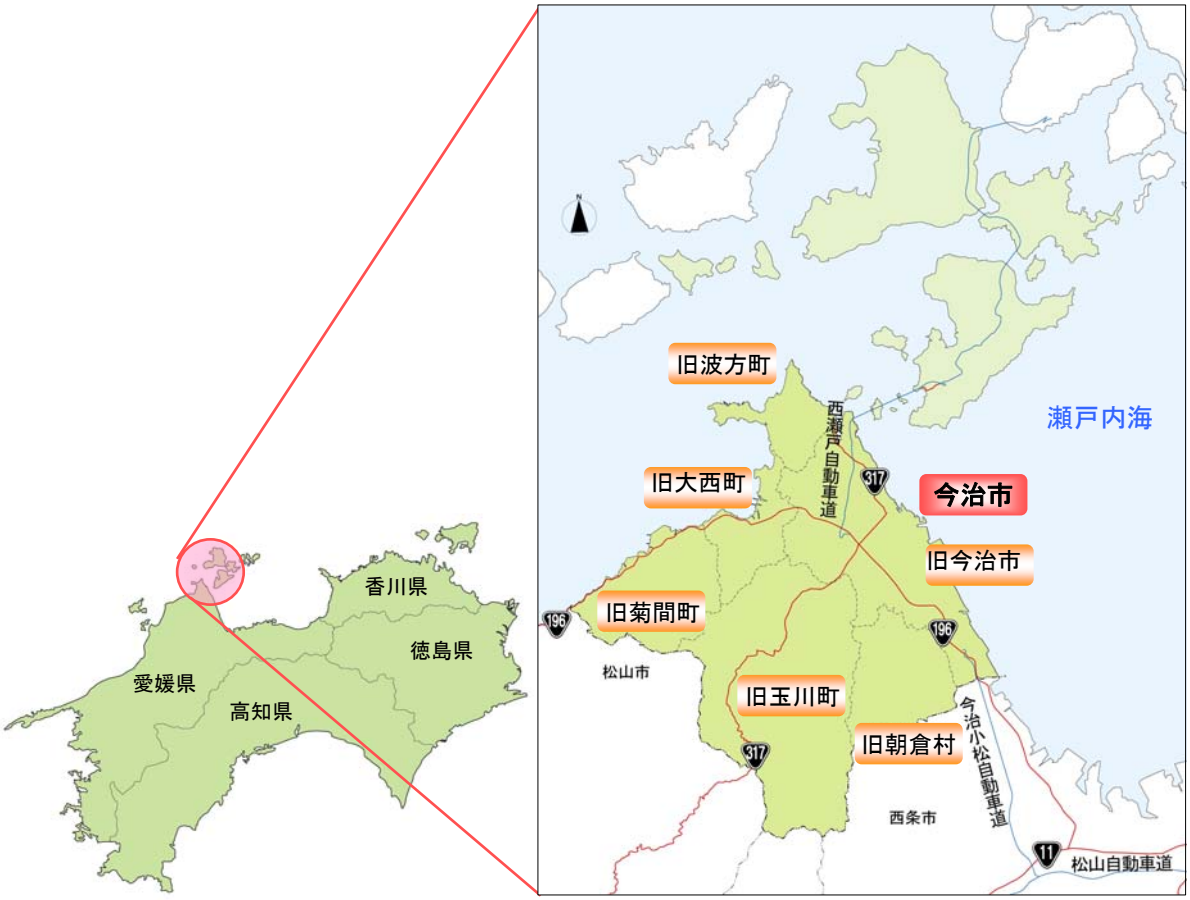


図 2.1.1　調査の対象地域

３．調査の全体構成

３箇年の調査フローを以下に示す。

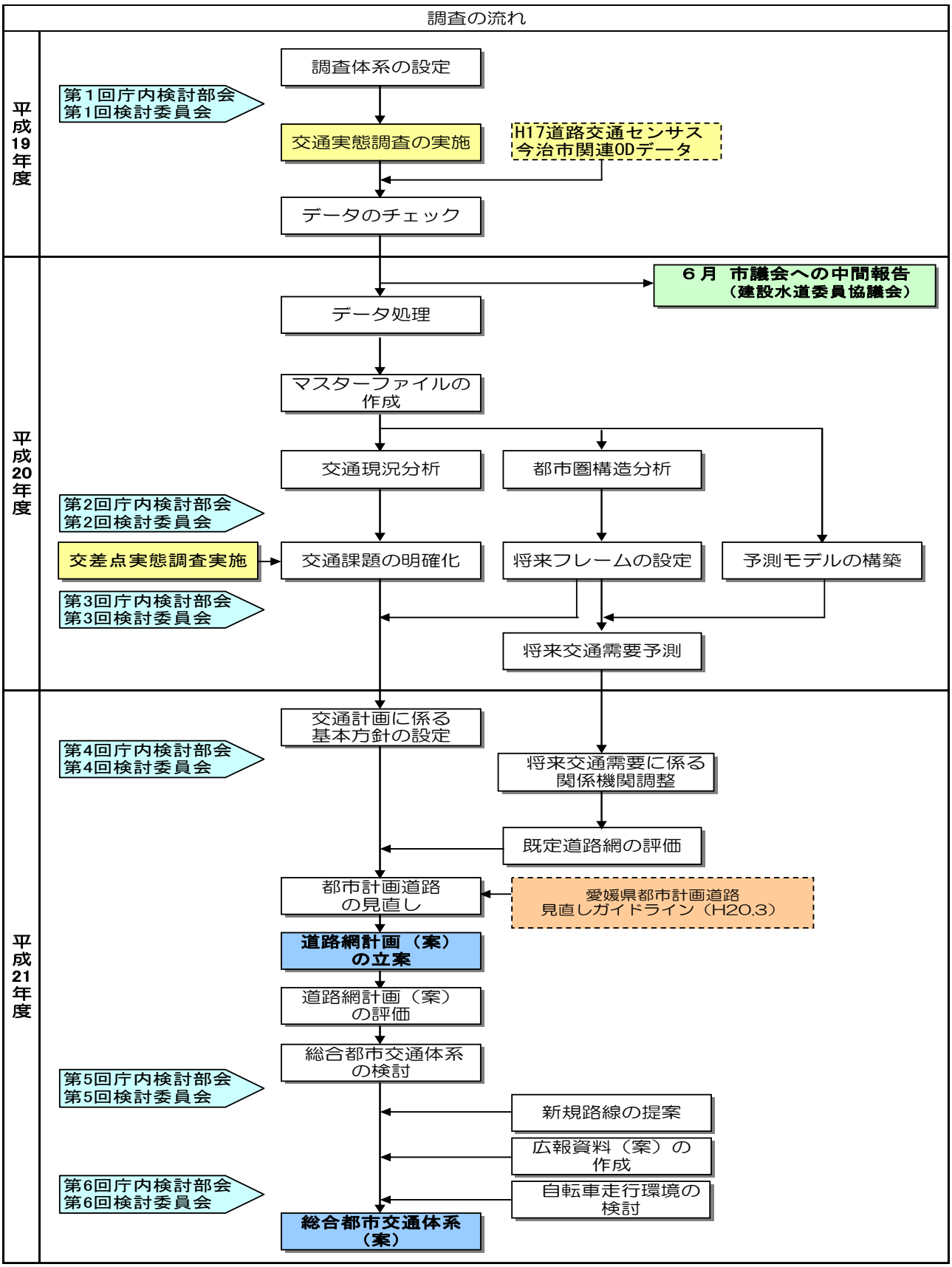


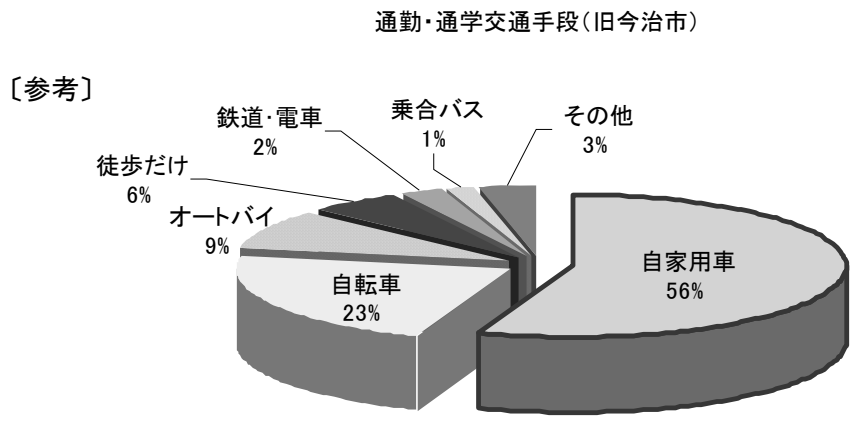
図 3.1.1　調査の全体フロー

４．調査対象

本調査においては、以下の点から自動車交通を中心に基礎資料の収集および交通施設整備計画の立案等を実施する。

・自動車の依存度が他の交通手段（鉄道、バス、自転車、徒歩）よりも極めて高い。

・このため、人の動きを把握するパーソントリップ調査よりも自動車に限定したオーナーインタビューＯＤ調査の方が効率的、効果的である。



資料：国勢調査（H17）

図 4.1.1　通勤・通学における交通手段分担